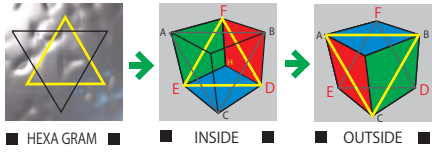
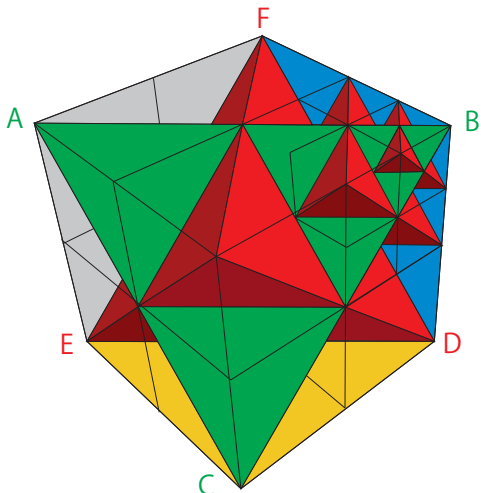


HEXAGRAM GEOMETRY



ヘキサグラムは3次元の奥行きを秘めた図形です。

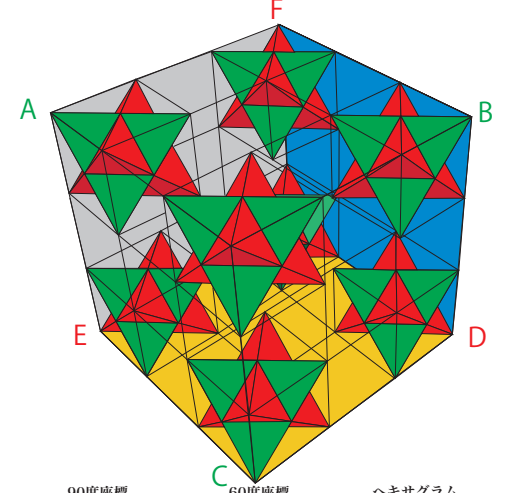
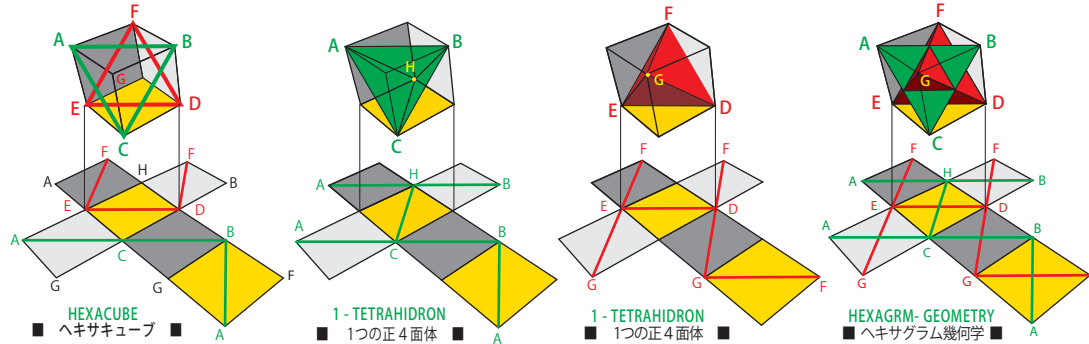
ヘキサグラム<六線星形>は、3次的には、組合わさった2つの正四面体>からなる<星形立体>です。この星形立体の8つの頂点は、同時に立方体の8つの頂点でもあり、星形立体の頂点と頂点を結ぶ12本の線は立方体の稜線となります。星形立体の奥と手前の2つの頂点を除いた「ヘキサグラム図形」は、この関係の中で存在しています。故に、2つの正三角形からなるヘキサグラムは、3次元の立方体の情報<奥行き>を持った図形とすることが出来ます。「ヘキサ立方体」は、この関係を視覚的に表した<3次元空間の構造モデル>です。「ヘキサ立方体」は、ヘキサグラム幾何学の3次元表現のベーシックとなるものです。



ヘキサグラムの頂点を結ぶとヘキサ立方体が出来ます。

ヘキサグラムの頂点を結ぶ線を延長すると3組の放射線となって3方向に収束し、3つの点で交わります。この点を結べば正三角形となり、正三角形の3つの頂点は3次元空間の3つの消点となります。「ヘキサグラム・マジック」の3次元表現法は、この原理を応用しています。

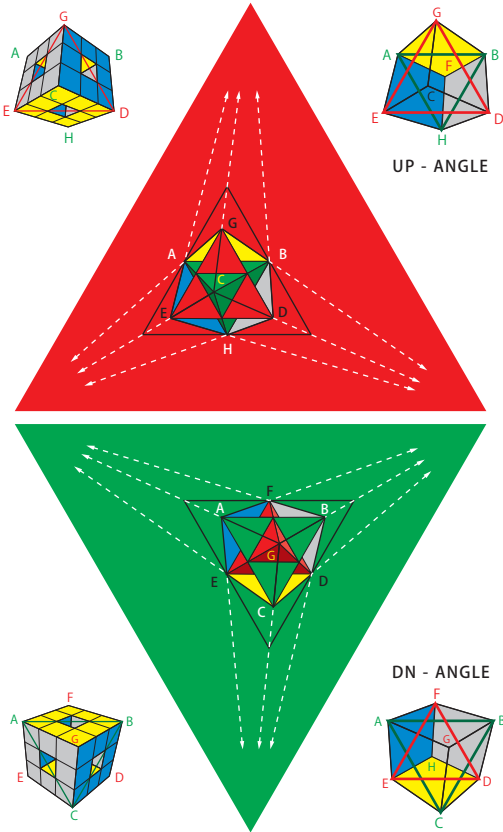
<ヘキサ立方体とヘキサグラムを構成する2つの正四面体>



「6本の座標軸が、1点で交わるヘキサ次元」

「ヘキサグラム・パターン」を構成する3本の60度座標軸と、「3次元の超立方格子」を構成する放射線による3本の90度座標軸の<合計6本の線>が空間のあらゆる点で<1点>に交わります。ヘキサ次元では、全ての放射線は、60度座標に対して相対的な関係を保っています。

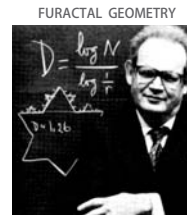
<正三角形の3頂点に収束する放射線>



BUCKMINSTER FULLER
シエナジーテック幾何学
SYNERGETIC GEOMETRY

自然界は正四面体を基本とする
同じ球の配列によって
構成されている

数 エネルギー
MATHEMATICS ENERGY
形 GEOMETRY



BENOIT MANDELBROT
フラクタル幾何学
FRACTAL GEOMETRY

無限に同じパターンを繰り返す
自己相似率の世界

立方体
CUBE



PYRITE

ヘキサグラム幾何学
HEXAGRAM GEOMETRY



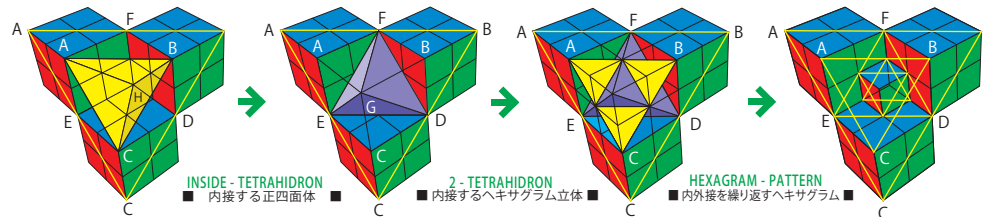
SNOW

ヘキサグラム幾何学は未知の世界への好奇心の入り口です。

「正四面体」は、自然界における<最大公約数>です。人間の視覚には映らない自然界の<見えない世界>は、正四面体が支配するシステムなネットワークが拡がり、人間が<見える世界>は、直角や平行線の存在しない無限の放射線のクロスする世界です。ヘキサグラム幾何学は、人間の曖昧な視覚世界を、「数と形の関係」で考える<視覚の科学>でもあります。

「視覚の量を計るヘキサ立方体」

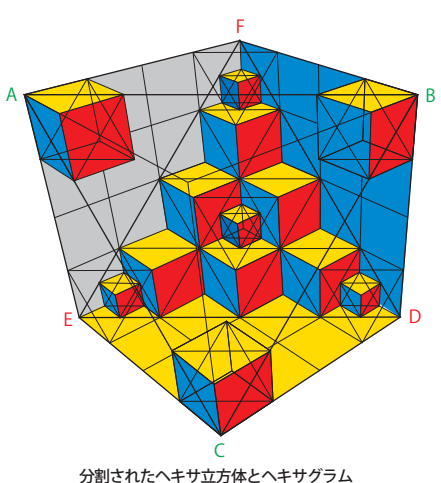
ヘキサグラムが内在する「ヘキサ立方体」は、ヘキサグラム幾何学の3次元の基本構造を表す「数学的モデル」です。それは、一つのヘキサグラムが1つの立方体の3次元の奥行きを計るメジャーとなるもので、無限の放射線で構成された3次元空間を自在に分割する事が出来ます。「ヘキサ立方体」を空間の基本とし、ヘキサグラムを「60度座標」とする事で、様々な3次元形状を正しく捉えることが出来ます。



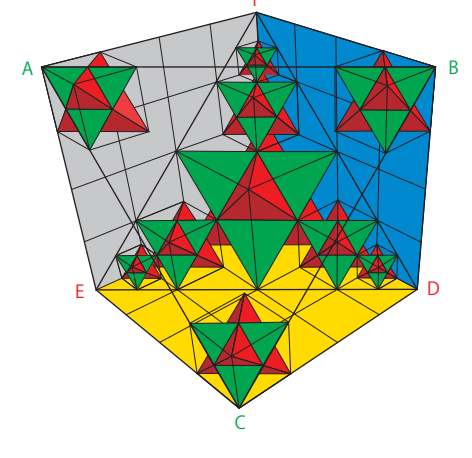
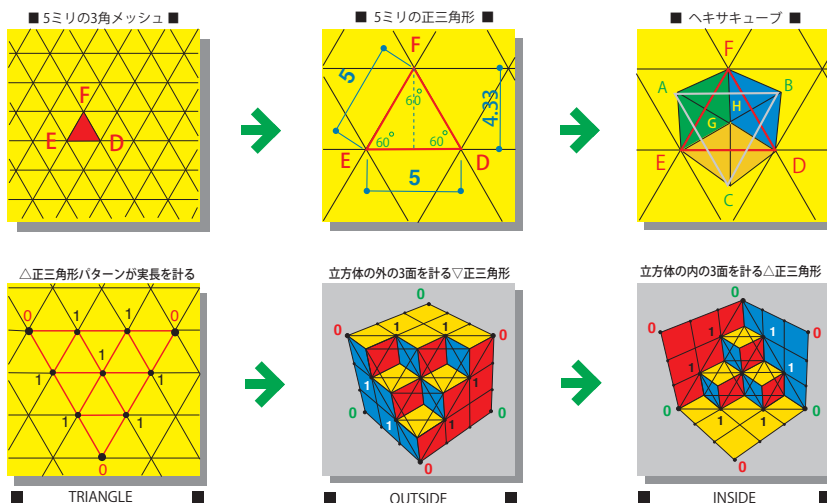
「エネルギーは最短距離を走る」

三角形は、最小の努力で最大の効果を得られる幾何学図形です。エネルギーの振る舞いは、一定の様式の下に現れ、規則性があります。それは、四角形やその他あらゆる多角形の<対角線>を通る事によって、自動的に空間を<総三角形状>に分割していきまます。「ヘキサグラム・パターン」は空間を走るエネルギーのネットワークでもあります。

<ヘキサグラム・シートの5mmの正三角形メッシュに描いたヘキサキューブ>



分割されたヘキサ立方体とヘキサグラム



正四面体とヘキサグラム・パターン

HEXA DIMENSION

「ヘキサ・ディメンション」

ヘキサグラム幾何学は、イメージと形を結ぶ数的言語です。